

取組の概要 >>>>

中商連が取り組むイベントで一番の目玉は毎年10月に行われる「安城サンクスフェスティバル」だ。平成10年に第1回が開催され、平成25年で第16回目を迎えた。当日はJR安城駅南側商店街一帯、駅前ホコ天通り等の会場に、多くの人が訪れる。

安城サンクスフェスティバルは商店街を身近に感じさせるような「日常の安城のまち」を来場者にPRするイベントだ。この点、安城七夕まつりのような非日常を演出する一過性のイベントとは目的が大きく異なる。

当日は、安城市内で活動する様々な団体が「理想とする安城のまち」をテーマに出店やパフォーマンスを行う。市民団体によるブースの出展や、毎月開かれている「安城まちなかホコ天きーぼー市」の同時開催、そのほか、パフォーマンスゾーンでは幼稚園・保育園児から大人まで様々な団体が踊りや演奏で会場を盛り上げるなど、内容は多岐に及ぶ。いわば、「理想の安城」をそれぞれが形にしてみる「一日限りの実験の場」だ。イベントは好評で、参加者と来場者はともに年々増加している。



▶子どもから高齢者まで幅広い年代が集まる

こだわりポイント!

平成25年の安城サンクスフェスティバルでは「まちを遊ぼう。」をテーマに掲げた。目玉となる企画は、新美南吉に関するおいしいものを詰め込んだ「南吉グルメ弁当」の限定販売。商店街の各店舗が独自のオリジナル弁当を販売し、来場者に好評を博した。



▲オリジナルの弁当

他にも、商店街の各店主が様々な講座(例えば「モザイクタイルクラフト」や「帯結び教室」等)を行う取組である「まちの教室」を、サンクスフェスティバルにて出張開講した。多くの人が訪れるサンクスフェスティバルにて開講することで「まちの教室」の認知度を高めた。



もちろん、安城七夕まつり公式キャラクターのゆるキャラ「きーぼー」も登場した。他にも「新美南吉ウォールペイントクイズラリー」や「きーぼーふわふわ・子ども広場で遊ぼう!」といった体験型イベントまで実施し、来た人誰もが幅広く楽しむことができるのが安城サンクスフェスティバルの魅力だ。



「きーぼー」のふわふわ

❖取組の効果

安城サンクスフェスティバルのいずれの取組も、商店街の賑わいを創出し、特に来場者には「日常の安城のまち」を知ってもらう貴重な機会となっている。また、町内会や学校、各種団体が協働でイベント運営等を行うことにより、商店街の活性化のみならず地域コミュニティの発展

にも大きな役割を果たしている。その他、事業運営に携わる店主の意識向上にも大きく寄与しており、それぞれが商店街の活性化に向け新たな方法を検討し試行する良い機会になっている。

❖今後の課題

安城サンクスフェスティバルは盛況であるが、今以上に安城というまちのブランド力を上げるためには、それだけでは足りないという思いもある。そこで、中商連が出した次なる一手は、七夕まつりの公式キャラクターである「きーぼー」だ。安城のブランド力をさらに高めるには、「安城=きーぼーの街」と思ってもらえることこそが一番の近道だと考えた。

きーぼーの認知度アップを図る取組のひとつとして、月に一度生鮮産品を販売する場として開催されていた「まちなか産直市」に、フリーマーケットやイベントなどの要素を加え、「安城まちなかきーぼー市場」へと名称を変更した。以前は総合病院の跡地が会場であったが、複合施設の建設に伴い、現在は JR 安城駅から御幸本町の交差点までの道路を車両通行止めにして利用している。いわゆる歩行者天国という魅力もプラスされ、「安城まちなかホコ天きーぼー市」と更なる名称変更を行った。歩行者天国のような取組も市と商工会議所、商店街の連携がとれているからこそできることだ。この他にも中心市街地活性化協議会で検討した「きーぼーの街宣言」を実施するなど、一貫して「きー

ぼー」を軸に据えた様々な取組を行っている。

今後は、きーぼーを中心に「個店の力」「ブランド力」「地域連携の力」という商店街を支える3本の柱を、今まで以上に力強いものにしていく予定だ。それぞれの柱がきちんと立った時、安城はもっと魅力的なまちになるはずである。

「安城に行ってくる」という声はまだ聞こえてくるように、これからも安城にしかない魅力満載の「こだわり商店街」を目指していく。

▶七夕まつりの公式キャラクター「きーぼー」



「安城まちなかホコ天きーぼー市」の様子

ほかにもこんな取組をしています

安城商店街アイドル「看板娘。」

安城商店街アイドル「看板娘。」は、平成24年に結成されたご当地アイドルユニットである。現在は、一般公募により集まった10代~20代の女性8名で構成され、歌やダンスなどのライブで商店街のイベントを盛り上げるだけでなく、チラシの配布や模擬店の手伝いも行う。募集にあたっては、「安城の商店街や安城市について積極的にPRできる人」、「原則無償で活動をしてくれる人」などを応募条件としている。安城市内にとどまらず県内、県外のイベントにも参加し、広く商店街のPRを行っている。また、メンバーが各個店を訪問し店主やおすすめ商品について紹介する動画「安城商店街突撃レポート」をネットで配信しており、それを見たファンが実際に買い物に訪れたこともある。「看板娘。」が活動を始めてから、これまであまり見られなかった若い男性客も増えている。



安城商店街アイドル「看板娘。」

商店街DATA

「安城中央商店街連盟」

<http://www.machi-anjo.jp/>
安城まちなか情報館

所在地 ● 安城市御幸本町16-5
アクセス ● JR安城駅 徒歩1分
設立年月日 ● 1985年7月10日
組合員数 ● 440名
代表者 ● 深谷 政信
TEL ● (0566) 72-5002 (クリエイションプラザ内)

